



健康について理解を深める

～第32回市民健康教室

■市民健康教室が9月18日、市民会館で開催され、約650人が参加し、健康相談や心肺蘇生コンテスト、健康指導員による寸劇の上演、講演会などをとおし、健康についての理解を深めました。◎写真は心肺蘇生コンテスト



安心・安全でおいしい“さつまいも”を食卓に

～かごしまの農林水産物認証制度に認証

■南さつま農協枕崎さつまいも生産部会が生産するさつまいもが8月17日、かごしまの農林水産物認証制度の認証を受け、8月25日に行われた同会の総会内で道野和敏会長が県農業・農村振興協会の松元信道専務理事から認証証書を授与されました。



生活環境の保全に一步前進

～4者間で公害防止協定を締結

■畜産施設の事業活動による地域の悪臭対策として、市と木原、美初の高公民館、畜産事業者の4者間による公害防止協定書の調印式が7月29日、市役所で行われました。今後、お互いの立場を尊重し、共存共栄を理念に環境保全対策を積極的に推進し生活環境の保全を図っていきます。

威勢のいい掛け声に活気づく

～第65回さつま鯉産地入札即売会

■さつま鯉産地入札即売会が9月10日、枕崎加工組合入札会場で開催され、市内の33社が出品し、全国から集まった58社99人の仲買人が、コンペアーで運ばれてくるかつお節に次々と値を付けていきました。

最高級の仕上げ節のうち本節はキロ当たり平均1,922円(対前年比45円高)、亀節は1,762円(同11円安)。その他を合わせた売上総額は2億7,345万4,673円でした。

今年は天候にも恵まれ、品質も安定していたため、主力商品は高値で取り引きされました。また、出品数量も増え、全体的な売上総額も伸張した結果となりました。



本市から2点が優秀賞を獲得

～南薩地域特産品コンクール

■南薩地域振興局主催の南薩地域特産品コンクールが8月25日、同局で行われ、食品部門の優秀賞にかつおラーメン(だいとく)、地域限定部門の優秀賞にかぼちゃこがやき(しおかぜ)が選ばれました。

このコンクールは、来年3月の九州新幹線全線開業にあたり、南薩地域の優れた地域資源を掘り起こし、新しい特産品づくりを目指すとともに、県内外へ広くPRすることを目的に開催されたもので、本市のほか、指宿、南さつま、南九州市の4市から計84点が3部門に出品され、12点が入賞しました。

だいとくの川平泰徳さんは「枕崎観光のお土産品になってくれれば」、女性グループしおかぜの村上ミエ代表は「地域おこしに寄与できれば」と話していました。



田中洋平くん 硬式野球で全国制覇

～ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会

■全国を6ブロックに分け選抜チームで競う硬式野球大会、第11回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会が8月21・22日、宮城県仙台市で開催され、田中洋平くん(立神中3年)の所属する九州選抜チームが中学生の部で6年ぶりとなる優勝を成し遂げました。田中くんは父の昭信さんが8月31日、市役所を訪れ市長に優勝報告をしました。

田中くんは、小学生の頃は柔道をしていましたが、中学生になって野球を始め、硬式野球チームの鹿児島スワローズボーイズ(日置市)に入りました。今回、九州選抜チームには本県から2人が選ばれました。大会では捕手や強肩を生かし外野手として出場し、チームの優勝に大きく貢献しました。

田中くんは「高いレベルの中で優勝できたのは、チームが結束できたからだと思います。将来は甲子園に出場し、プロ野球選手になりたい」と話してくれました。



枕崎の魅力 発信します

～花渡川クラブの7名に観光ボランティアガイド委嘱状

■枕崎市観光協会(揚野卓郎会長)が委嘱する観光ボランティアガイドの委嘱状交付式が9月17日、枕崎駅前観光案内所で行われ、観光ボランティアガイドのグループ『花渡川クラブ』の7名に委嘱状が交付されました。

同クラブ代表の田中勝代さんは「枕崎の活性化のために頑張りたい。私たちが枕崎のいいところを案内することで、全国の人に枕崎のよさを知ってもらえれば」と意気込みを話していました。



中秋の名月 子どもたちの元気な声が響く

～市内各地で十五夜行事

■中秋の名月を眺めながら収穫を祝う恒例の十五夜行事が旧暦の8月15日にあたる9月22日、市内各地で行われました。

このうち、桜木町公民館では、小江平交差点から茅をかぶった子どもたち約10名とサラシを胴巻きにした桜木町桜会の青年らが、小江平十五夜綱引き唄を唄いながら小江平公民館に入ってくると、周囲から大きな歓声が上がっていました。このあと、男性と女性、子どもと大人などに分けての綱引きや、相撲をするなど大いに盛り上がりしました。

参加した鶴丸怜士くん(枕崎小6年)は「枕崎には引っ越してきたばかり。茅をかぶったり、綱引きをしたりと楽しかった」と話してくれました。



期待を胸に大海原へ 行ってきます

～鹿児島水産高校『薩摩青雲丸』ハワイ沖へ

■鹿児島水産高校の実習船、薩摩青雲丸の出航式が9月17日、枕崎港外港で行われました。今回の航海には海洋科2年と専攻科1年の合わせて24人が乗船。約70日間に及ぶハワイ沖などへの遠洋航海でマグロはえ縄漁や海洋観測を行います。

出航式では、実習生を代表して西川譲くん(海洋科2年)が「実習をとおし、多くの知識と技術を身に付け、漁業や海運業の担い手になれるよう頑張ります」と決意を述べました。